



【GUEST】
フルート
Cocomi



【GUEST】
ドラマー
福盛進也

Ambassador・MC
三井 ゆり

響メンバーによる ゲートウェイ・ズ リステン

Cocomi & 福盛進也 を迎えて

2025 2/15 [土] 14:00開演
(13:15開場)

さんびる文化センター プラバホール

演奏曲目

- エルガー：愛のあいさつ
 - モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス
～映画「ニュー・シネマ・パラダイス」より～
編曲：御法川雄矢
 - モーツァルト：
フルート四重奏曲第4番イ長調 K.298
 - 宮沢賢治：星巡りの歌
 - ベートーヴェン：七重奏曲より1,3,5,6 楽章 他
- ※変更となる場合がございます。



ファゴット 水谷 上総

ホルン 日高 剛

チェロ 藤村 俊介

ヴァイオリン 宮川 奈々

ヴィオラ 御法川 雄矢

クラリネット 磯部 周平

コントラバス 市川 哲郎

全席指定(税込) [当日券+500円]

一般 5,000円

さんびるシート (高校生以下) 2,500円

未就学児は入場不可

お問い合わせ 山陰中央新報社事業部
TEL.0852-32-3415

主催/山陰中央新報社
共催/松江市プラバホールリニューアルオープン事業
実行委員会・松江市・松江市教育委員会
特別協賛/さんびる 企画制作/ヴィガー K2

チケット販売 ●12月23日(月) 10:00～

ネットで
並ばず購入

手軽に購入出来るインターネットでの
チケット購入をおすすめしております

オンライン

GETTIIS チケットサービス
<https://www.gettiis.jp/>

窓口で購入

プラバチケットコーナー(9:00～17:00※火曜日を除く)
山陰中央新報社 本社3階(10:00～17:00※平日のみ)
●ご希望の方は、山陰中央新報社の総局・支局でのご購入も可能
です(要問い合わせ)



子どもたちの芸術鑑賞を応援!

さんびるジュニアシート
(1階席後方・2階席)

小中学生90人を無料でご招待します

応募方法はこちらから

12月23日(月) 10:00～

※定員に達し次第、締め切ります
※付添の保護者は、応募時の専用フォームか
らチケット(有料)の購入予約をください



NHK交響楽団メンバーの名手たちによる「ゲートウェイ・ゾリステン」がクラシックや映画音楽などの名曲を力演。2022年にアルバムデビューを果たした新進気鋭のフルート奏者Cocomiさんとのコラボレーションによるモーツァルトのフルート四重奏も必聴!さらに世界で活躍するジャズドラマー福盛進也さんをお招きして、宮沢賢治の名曲「星巡りの歌」を情感たっぷりに演奏するなど、三井ゆりさんの解説とともに、楽しいひとときをお届けします。



フルート Cocomi

3歳からヴァイオリン、そして11歳にフルートを始める。ヴァイターミル・アシュケナージ、エマニュエル・バユのマスタークラスを修了。これまでに、ヤマジュニアフルートコンクール優秀賞3回、最優秀賞1回並びに特別賞受賞。2019年には、日本奏楽コンクールで最高位を受賞。管楽器部門第1位とともにフランス近代音楽賞受賞。2021年1月、東京フィルハーモニー交響楽団の「ニューイヤークンサート2021」にソリストとして出演。同年、京都の西本願寺で無観客で収録された「音舞台」への出演も果たす。

2022年4月デビュー・アルバム「de l'amour」をリリース。12月に東京・紀尾井ホールで行われたデビュー・リサイタルを成功裡に終える。

2023年2月には、ニューヨークのラジオシティ・ミュージックホールで開催されたピアニスト、ラン・ランのコンサートにゲスト出演。公演での世界デビューを果たす。同年3月、桐朋学園大学音楽学部 カレッジ・ディプロマ・コースを修了。10月、ヴィオリニスト、デイヴィッド・ギャレットの来日公演にゲスト出演。11月には2ndアルバム「Mélancolie」をリリースし、東京・紀尾井ホールで自身2度目となるリサイタルを開催。

2024年10月には、3rdアルバム「Neos」をリリースし、12月に東京・紀尾井ホールと大阪・住友生命いずみホールでリサイタルを開催。

現在同大学ソリストディプロマコースに在籍中。

フルートを泉真由氏、NHK交響楽団首席フルート奏者である神田寛明氏に師事している。



ジャズドラマー・作曲家・音楽プロデューサー

福盛進也

大阪市阿倍野区生まれ、15歳でドラムを始め、17歳の時に芸術高校にて音楽を学ぶために単身で渡米。その後、ブルックヘブンカレッジ、テキサス大学アーリントン校を経て、パークリー音楽大学を卒業。10年間のアメリカでの活動後、2013年に拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。2018年に自身のトリオで、ドイツの名門レーベルECMから日本人2人目となるリーダー・アルバム「For 2 Akis」を世界リリース。その後、トリグヴェ・サイム (ts)、ウォルター・ラング (pf) との新たなトリオの他、リー・コニツ (as)、ミロスラフ・ヴィトウス (b)、フロリアン・ウェーバー (pf)、ソングェ・ソン (ts)、山下洋輔 (pf) など様々なアーティストとの演奏活動を行う。2020年には自身のレーベルnagaluを立ち上げ、参加アーティスト総勢12名のアルバム及びショートフィルム「Another Story」をリリース。翌2021年には第二のレーベルS/N Allianceも設立し、プロデュース業や録音のディレクションにも力を入れている。更には、日韓アーティストを中心としたプロジェクト「EAST MEETS EAST」を発足し、欧州、日本だけに留まらず、アジア全体のジャズの発展に向け新たな風を巻き起こしている。独特で繊細なシンバルワーク、そして空間を自由に生み出し色とりどりに展開する演奏は世界中でも一目を置かれ、また作曲家としても高い評価を得ている。ダイナミクスの幅が広く詩情的なプレイを得意とする。

N響メンバーによる「ゲートウェイ・ゾリステン」

2021年新型コロナウイルス感染症の影響によりコンサートの中止が相次ぎエンタメ業界の先行きが見えない中、音楽と人との中継役でありたいと、高輪ゲートウェイ駅を最寄駅とするNHK交響楽団に所属するメンバーによって演奏形態に捉われないユニットを結成。ゲートウェイ (Gateway) は英語で入口を意味し、通信手段の異なる両者の中継する機器そのものを指すインターネット単語。また、ゾリステン (Solisten) はソリストからなる集団を意味する。アンバサダーに三井ゆりを迎え、21年12月紀尾井ホールで第1回デビューコンサート (ゲスト: ヴァイオリン奏者: 廣津留すみれ、ミュージカル・ソー<のこぎり>奏者: サキタハデメ)。その後も22年2月銀座ヤマハホールでクローズドコンサート、第2回演奏会は王子ホールで〜The future of young players〜として注目のピアニスト佐藤文音、第3回演奏会は白寿ホールで同年11月白寿ホールで新進フルート奏者: Cocomi、ミュージカル・ソー奏者: サキタハデメ、23年8月には札幌コンサートホールKitaraをはじめとする北海道ツアー (他、室蘭市・函館市・中標津町)、10月山口県下関市、11月愛知県刈谷市、兵庫県朝来市など。24年は、青森県弘前市、岡山県倉敷市など全国20カ所以上で開催。ヴォーカリスト・野口五郎と東京・八芳園でのショーやクラシックホールの東京オペラシティコンサートホール (2日間) など、幅広いジャンルのアーティストと共演を重ねている。



クラリネット 磯部 周平

神奈川県出身。県立湘南高校卒業後東京藝術大学を経て同大学院修了。宅宅賞受賞。東京交響楽団首席奏者を経て1983年NHK交響楽団入団。1988〜89ベルリンでの研鑽後N響首席奏者を務めるほか、国内外各地にて多くのリサイタル、多数のアンサンブル、音楽祭等室内奏者としても活動。元東京藝術大学講師。現在国内各オーケストラで客演首席奏者を務めるとともに東邦音楽大学特任教授、高美ミュージックカレッジコンセルヴァトールディプロマ科チーフプロフェッサー、日本合唱指揮者協会会員、日本音楽著作権協会会員、日本クラリネット協会理事。



ファゴット 水谷 上総

京都市出身。16歳よりファゴットを始める。1987年京都市立芸術大学卒業。同年、ドイツ学術交流会 (DAAD) 給費留学生としてゲットモルト音楽大学に留学。90年同大学を最優秀で卒業、ヘルマン・ユンク氏に師事。ライン・ドイツ歌劇場管弦楽団 (89年〜)、群馬交響楽団 (93年〜) を経て、2001年NHK交響楽団首席ファゴット奏者に就任。ソリストとして群馬交響楽団、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。CDは池辺晋一郎のファゴット協奏曲「炎の資格」(カメラータ)、「ゾナーテン」(ドイツ作曲家によるファゴット作品集)「ファゴット〜ノ」(オクタヴィア・レコード)をリリース。また東京音楽大学兼任教授として後進の指導にもあたっている。



ホルン 日高 剛

宮崎県出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。ホルンをE.ベンツェル、W.サンダース、守山光三、山田真、田原泰徳の各氏に師事。2000年広島交響楽団に入団。その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を2013年まで歴任。演奏活動はオーケストラのみならず、ソロや室内楽、音楽と美術のコラボレーション、病院やリハビリテーション施設におけるアウトリーチ活動、長崎県地域ブランディング推進委員として、長崎県にて五島における文化芸術事業の企画運営にも意欲的に取り組んでいる。演奏活動だけでなく、国内外でワークショップを行い後進の育成にも力を注いでおり、これまでに、第43回国際ホルン協会シンポジウム (ロサンゼルス・U.S.A.)、The International Hornweek (マーストリヒト・オランダ)、シベリウス音楽院 (フィンランド)、嘉義市 (台湾) にてリサイタルやマスタークラスを開催した。霧島国際音楽祭、本曾音楽祭、北九州国際音楽祭にも参加している。2013年より東京藝術大学准教授。国立音楽大学・昭和音楽大学各・相愛大学講師、名古屋音楽大学客員教授、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、新日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者を務める。ホルンアンサンブル「つる笛集団」、THE HORN QUARTET、木管五重奏 Wind Five メンバー、日本ホルン協会常任理事。



チェロ 藤村 俊介

桐朋学園大学音楽学部卒業。チェロを安田謙一郎氏に師事。日本演奏連盟賞受賞。第58回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。1989年NHK交響楽団に入団。1993年アフィニス文化財団の研修員としてドイツに留学し、メロス・カルテットのベーター・ブツ氏に師事。これまでに4枚のソロアルバム「バラ色の光り輝く雲が、ゆったりと流れ」「カサド: 無伴奏チェロ組曲」「ダナンツァ・エスパニョーラ」「ハバナ」及び、N響ヴァイオリン奏者大宮隆太郎とのデュオ・アルバム「パッサカリヤ」、師匠の安田謙一郎との2枚のアルバム「デュオ・チェロ」「レゾナンス」をリリースしているほか、チェロ四重奏のラ・カタルティーナとして、10枚のアルバムをリリースしている。現在NHK交響楽団の次席奏者、ラ・カタルティーナのメンバーを務める他、フェリス女学院大学非常勤講師、桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園大学客員教授として後進の指導に当たるなど、ソロ、室内楽、オーケストラと多岐に活躍している。



ヴィオラ 御法川 雄矢

北海道出身。10歳よりヴァイオリンを始め、その後ヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科 (共学) を経て、2003年桐朋学園大学音楽学部卒業。2000年よりバンドネオン奏者小松亮太氏のライブ、レコーディングに参加する。2009年2月NHK交響楽団入団。指揮者としても数多くのパレエ公演をはじめ関西フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤルチェンバーオーケストラ他を指揮し高い評価を受けている。またシンガーソングライター半崎美子氏のオーケストラアレンジ、テノール佐野成宏氏の「The Christmas Song」のアレンジを担当するなどアレンジャーとしても活躍している。これまでにヴィオラを江戸純子、ヴァイオリンを市川映子、指揮を堤俊作、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴァイオリン奏者、小松亮太オケスタ・ティピカ、どさんこクラシックスのメンバーとして活動。カメラータ・ナガノ音楽監督。



ヴァイオリン 宮川 奈々

5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学を卒業。桐朋オーケストラアカデミーを修了。第63回全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部第3位。第80・81回日本音楽コンクール入選。平成25年度公益財団法人青山財団奨学金事業対象者。2013年PMFオーケストラアカデミーに参加。大学内でのソリストオーディションに合格。沼尻竜典氏指揮・桐朋学園大学オーケストラと共演。サントリーホール室内楽アカデミー第4・5期フェロー。これまでに松本尚三、板垣登喜雄、篠崎永有、堀正文、景山誠治の各氏に師事。2016年よりNHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。



コントラバス 市川 哲郎【賛助出演】

18歳よりコントラバスを始める。桐朋学園音楽学部卒業。同大学研究科終了。在学中、カナダ・ヴィクトリア国際音楽祭に参加しゲーリー・カー氏に師事した他、池松宏、石川滋両氏のサマーキャンプに参加。ライナー・ヴェルベック、ユージン・レピンソン各氏のマスタークラス受講。これまでに西田直文氏に師事。現在、群馬交響楽団首席コントラバス奏者及び室内オーケストラARCUS、群馬バロックオーケストラメンバー。



Ambassador・MC 三井 ゆり

TBS系「関口宏のフレンドパーク」のアシスタントでお茶の間の人気に、NHK教育テレビ「サイエンス・アイ」では司会で活躍。1994年TBS系「スーパーサッカー」ではタレント・スポーツキャスターとして注目を集める。自動車のA級ライセンスや、サッカーの3級審判員の資格を取得するなどスポーツ万能な一面も。「お嫁さんにしたいタレントNo.1」に輝いたこともあり、2001年に歌手の野口五郎と結婚。養子士の免許をもち二児の母として家庭を支える。旅番組をはじめバラエティ番組出演の他、コンサートやイベントの司会など多方面で活躍している。